

令和6年度第2回瑞穂市社会教育委員の会（案）

生涯学習課長 皆さんおはようございます。ただいまから第2回社会教育委員の会を開催させていただきます。まず開会に際しまして服部教育長よりご挨拶を申し上げます。

教育長 皆さんおはようございます。お集まりいただきありがとうございます。今年度、皆さんもご承知の通り岐阜県は文化、芸術の年ということで、夏には全国の高校の方の総文祭が行われて、瑞穂市では吟詠剣詩舞が披露されました。また、清流の国岐阜文化祭2024ということで10月14日から11月24日まで開催されました。開会式では、各地区の文化伝統の踊りや音楽や演芸などが数多く上演されました。そこで一番感じたことは、岐阜県内の各地域には本当に魅力ある、誇れるさまざまな伝統文化が本当にあるということです。もう1つは、歌舞伎や民謡、太鼓です。このあたりでは谷汲踊りです。小学生や中学生が引き継いでいると聞きました。その地域の方が伝統を脈々と持続させようと努力してみえる点ですね。そして、実際に演じてみえる方々は、誇りをもってやってみえる点がすごく印象に残りました。

ある時、新聞で応援大使である紺野美沙子さんの記事を目にしました。ご主人が郡上の出身ということでよくご家族で見えたそうです。シンポジウムの中で、郷土芸能というのは携わっている方の「これが好き」という感情が抑えられないエネルギーがあると述べられていました。なおかつ地元住民の皆さんによって長く受け継がれてきた文化で、地域のつながりが強い岐阜ならではのものであるというコメントが掲載されていました。

今後、やはり地域の伝統文化を守り次いで次世代につなげることが大事ですし、そういうものがあることによって地域がつながったり、人と人とがつながったりすることが大事であると思うと、瑞穂市でも、美江寺の宿場の秋祭りなど大事にしていけないと感じました。

2つ目は、そんな営みの中で「将棋フェスティバル in 瑞穂」を瑞穂市で開催しました。ご覧になられた方みえると思いますけれども、そこで感じたことは、将棋好きの人が全国からお見えになりました。そういった自分が打ち込めることがあるというよさというか、うらやましさを感じまして、皆さん本当に生き生きと真剣にやっていました。将棋は、将棋盤と駒さえあれば、年齢にかかわらずお互いに将棋を通じてコミュニケーションを図ることができ、とてもいい空間でした。

瑞穂市は、将棋にあまり縁がないところだったと思いますが、この機会にみずほ総合クラブにおいて将棋クラブを開講し、少しでも広がっていくとよいと思いました。

今年度皆様方には、生涯学習事業の市民自主講座についてのご意見をいただきます。この社会教育において「生涯にわたって学び続ける人づくり」、「地域社会に役立とうとする人づくり」ということが、まさにこのテーマを具現できる取り組みだと思っておりますので、皆さんが拝見されて気が付いた点についてご意見をいただき、ブラッシュアップしていきたいと思っておりますので、どうかよろしく願いいたします。

生涯学習課長 では、社会教育委員の会の委員長、井深様一言ご挨拶申し上げます。

井深委員長 皆さんおはようございます。高齢化やそれから1人世帯が進む中で、生涯にわたって学び続ける人づくりや、まちづくりや地域のコミュニティづくりはますます重要になってきています。ところがコロナがあり、その3年間瑞穂市だけではなくてどこの市町もそうですが、人づくり、地域づくりが後退してしまったような気がします。

私が住む別府北町では、老人会という充実した組織がありました。新しい人がもう入りません。それから役員の引き受け手がないということでなし、解散をしました。こうしたことも人の集まりを少なくしましたし、地域の行事を以前のように行ってもそこに参加する地域の人たちが少なくなっていました。例えば防災訓練も、ラジオ体操も、それから清掃活動ですね、年々数が減っていくような状態です。

こうしたことを考えると、特に生涯学習課の活動がより重要になってくると私は思います。生涯学習課として、まちづくり、人づくりに関する教育が積極的に行われ、後程報告があるかと思いますが、私は概ね前半計画通りに行って、成功したのではないかと思います。

その中で特に2つのことを感じました。1つは人づくりについて2つ印象に残っています。1つは瑞穂市社会教育の重点活動に「読書のまち みずほ」がありますが、それに関わって「ビブリオバトル」が今年度も行われました。3回目ですが、一層充実してきました。誰が最優秀賞を取ってもおかしくないほどレベルが高くて拮抗していました。各小学校の代表者が、自分が読んで感動した本を皆さんに紹介するのですが、どの子の発表を聞いても私もその本を読みたくなりました。まさに本に親しんで、本を楽しんで、本に学ぶ活動だったと思いました。

それだけではありません。発表者は突然1人1人に対してジュニアリーダーの子の質問を受けました、予期せぬ質問ですけれども、すべての子が即興で答える。コミュニケーション能力の高さにも驚きました。非常によかったと思います。それから、今年は発表の場を巢南公民館からココロかさなるCCNセンターに移して、広い場で堂々と皆さんの前で、しかも数多くの聞いている人の中で発表できたことも今後の自信につながったのではないかと思います。さらには、ビデオではありましたが中学生のスピーチコンテストです。英語教育に力を入れているということのアピールも兼ねて、英語スピーチコンテストを取り入れられたこともとてもよかったと思いました。

もう一つは、今年度の研究調査課題でありました自主講座です。一言で言いますとその活動は「素晴らしい」の一言です。少し話は変わりますが、厚生労働省の発表によりますと、日本人の平均寿命は男性が81歳、世界で5位。女性は87歳で世界1位です。また、100歳を超える人は全国で、女性が83,958人で88%。男性は11,161人で12%。まだまだ平均寿命は延びていく傾向にあります。まさにこれからの社会は、人生100年時代に沿ったものにしなければなりません。

市民自主講座は、教える人と学ぶ人が一体となり、講座を通して、生涯にわたって学んでいこうとする姿勢が見られました。どの会場も緊張感がみなぎっていて、入室するのも憚られるような状態でした。先日の文化講演会でお話されました脳科学者の茂木先生が、いくつになっても前頭葉の刺激は必要だとお話になりましたが、まさに市民自主講座は

その点において理にかなっていると思えました。健幸都市をめざす瑞穂市にとっては、大切にしたい講座です。ただ、課題もあると思えます。参加者から見ますと、どの講座も女性が大半でした。男女の平均寿命の差がこんなところに表れていると感じました。私が担当しました講座については後程詳しくお話しします。今日は上半期の事業についてと、市民自主講座について後程貴重なご意見を皆様から頂きたいと思えますのでよろしくお願い致します。

生涯学習課長 本日、松野委員さんにおかれましては、欠席の連絡が入っていますのでお伝えします。では、これより議事の方に入らせていただきたいと思います。進行は井深委員長様よろしく願いいたします。

井深委員長 それでは議事を進めさせていただきますので、ご協力をお願いします。事務局の方から令和6年度瑞穂市生涯学習について中間報告をお願いします。

事務局 では、1ページをご覧ください。令和6年度瑞穂市の生涯学習事業について中間報告させていただきます。瑞穂市教育の方針と重点に示された「生涯にわたって学び続ける人づくり」「家庭・学校・地域社会・各種行事が一体となって青少年健全育成を目指すまちづくり」について順に説明します。2ページをご覧ください。

1、瑞穂総合クラブです。昨年度、皆様にアドバイスをいただきました。新規に開設した講座も、講師の先生方がとても熱心に指導してくださり順調に進んでいます。子どもたちにとって、実のある講座となるよう継続していきます。

2、市民自主講座です。この後ご意見をいただきます。よろしくお願いいたします。

3、フュージング教室です。週3回の開催ですが、多くのかたにご利用いただいています。特に、夏休み中は利用者も多く充実した教室となっています。

4、瑞穂大学です。今年度は、学生みなさんに「わくわく感」を感じてもらえるよう多様な講座を取り入れながら取り組んでいます。特に、郡上踊りは保存会の方々と一緒に踊る場面があり、みなさんとても楽しそうでした。

5、リトミック親子体操教室です。親子で楽しく運動したり、リズムに合わせてダンスをしたりして笑顔がいっぱいの教室となっています。保護者の満足度も高く大変好評です。

6、親子感動体験事業です。昨年度に引き続き、くぼたまさと工作ショーを開催しました。2日間で110組の親子に参加していただきました。ただ、応募数が多く、抽選の結果参加できない方も多くみえました。親子が協力して工作をすることで関わりを深めるという事業のねらいを具現することができました。

7、乳幼児からの家庭教育学級です。小中学校の家庭教育学級では、子どもたちと保護者のかかわり、保護者どうしのかかわりを深められるよう参集型、体験型の学級が多く行われています。乳幼児家庭教育学級は、12月23日に手形足型アートの教室を実施予定です。

8、子ども読書活動推進です。10月12日、ビブリオバトルを開催しました。子どもたちが読書に親しむとともに、思いや考えを伝え合う力を身に付けることを目的として3回目の開催となりました。緊張の中、本の魅力を伝えようとする児童の姿はとても素敵でした。おすすめ本は、各小学校の図書館で、多くの子どもたちに読んでもらえるよう7冊ずつ購

入しました。今年度は、委員の宇野様が所属する瑞穂市読書サークルより寄贈していただくことになりました。本当にありがとうございます。

9、ネオクラシックコンサートです。今年度は、プロのサクソ奏者である野々田万照さんと歌手の大友玲子さんをお招きし12月21日(土)に「Xmas Jazz concert」を開催します。生演奏のジャズを聴く機会はなかなかありません。幅広い世代に聴いていただくことを願い、準備しています。また、アウトリーチについては市内の小中学校2校で実施します。

10、企画展です現在、図書館本館にて企画展「中山道美江寺塾」を開催しています。和田家より市に寄贈された「和田家文書 諸用留書」を、社会教育指導員である北村先生が読み解き、当時の美江寺宿の様子や人々の暮らしについて、貴重な資料とともに解説・展示してあります。今週末まで行っています

11、図書館に関わる事業です。市役所の他部署と連携した事業では、産前産後交流会やワイワイ広場の開催等を行っています。今のところ産前産後交流会については合計で30名ほどの参加がありました。また、図書館の施設見学、職場体験等も行っています。市内の小中学校2年生の児童が、施設見学ということで図書館に来館し、図書館について学んでいます。中学校では、2年生の生徒4名が図書館の業務の体験をしました。

次に、魅力ある図書館事業の実施では、読書週間の特別企画ということで、親子で折り紙教室を行いました。北方町で折り紙教室を行っている方をお招きして教室を行い、大変好評でした。アンケートの記述では、「少し難しかったけれど、親子で考えながら作るにはちょうどよかったと思います。」という感想がありました。親子で行うことのよさを感じていただけたと思います。

また、リサイクルフェアということで、子ども図書のリサイクルフェアを行い、2,300冊ほどをリサイクルという形でもらっていただきました。バルーンアートでは、広い会場で自由に風船を飛ばすことができ大変好評でありました。

分館の方では、今年度で20周年ということで、すずきまもるさんの講演会を開催しました。今回は鳥の巣を中心とした講話をいただきました。「鳥の巣の実物がみられて、子どもたちと一緒にわくわく、楽しい時間でした。」という感想にもあるように、とても面白く興味深かったです。ホワイトボードに絵を描いて説明する方法も、とても分かりやすく楽しい講演会でした。来年度、図書館システムの更新を予定しております。簡単ではありますが、報告を終わらせていただきます。

12、ゲートゴルフ、13、ファミリーハイキングです。今後も市民にはたらきかけスポーツに親しむ機会を提供していきたいと考えます。

次に、まちづくりにかかわってです。第1回市民の集いを開催しました。青少年の健全育成の取組を周知するとともに、少年の主張大会を行い、青少年の願いや思いを聴く機会となりました。より多くの市民に参加いただけるよう努めていきます。

青少年育成市民会議三部会では、地域で子どもたちの見守り、育むことができるように重点活動を中心に取り組んでいます。

少年リーダーの活動です。現在30名で活動を行っています。活動の幅を広げることと、子どもたちの自主性を育てていくことを目指しています。そのために、市の様々なイベントに参加しています。活動の最後には、自分たちで振り返りを行って、次の活動につなげ

ています。以上で私からの説明を終わります。

井深委員長 ありがとうございます。今生涯学習課から生涯学習事業と図書館事業について中間報告がありましたが、ご質問やご意見はございますか。赤尾委員お願いします。

赤尾委員 生涯学習課の伊藤先生にサイエンスショーをしていただきました。どんどんこの活動が増えていけばよいと思います。子どもたちが喜んでる姿を見て、親も喜ぶことができ、すごくよい活動だと思います。

ビブリオバトルについては、レベルが上がってとてもよい活動だったなと思います。ただ、ルールについて、4分という時間の制限がありましたが、守れている子が1人だけだったので見直してもよいと思います。準チャンプに選ばれた子のスピーチは、推理小説だけど、あらすじも言えないけれど読みたくなりました。これぞビブリオバトルかなと思いつつ聞いていました。

あいさつ運動については、毎日校門まで来て、あいさつをさせてもらっています。子どもたちと会話のきっかけにもなって、すごくよい活動だと思います。

井深委員長 ありがとうございます。上野委員さん。

上野委員 お礼です。図書館にかかわって、放課後児童クラブに毎月100冊ずつ図書の入れ替えをしてもらい、子どもたちも楽しみにしておりますので、ありがたいと思っております。

先日、サンコーパレットパークにみずほバスを利用して、子どもたちと出かけました。公園で遊んだ後に図書館分館で読み聞かせの会をやっているということで、お邪魔しました。とても楽しく、親しみがありました。以前とは違う素晴らしい図書館分館になりました。子どもたちが入ったときにあっと驚くような雰囲気、それから図書の並べ方、紹介の仕方など、「みんなここでゆったりと読めるよ」と、誘いかけているような図書館になっていました。子どもたちのためにということで、あたたかい雰囲気で過ごすことができました。ありがとうございます。

井深委員長 生涯学習課や図書館事業について成果をお話ししていただきました。ただ、ビブリオバトルの発表時間については来年以降検討するというので、よろしくをお願いします。宇野委員さん。

宇野委員 私のこの任期の中で強く感じてきているのは、子どもがすごく育ってきているということです。例えば、牛牧小校区の社協で少年リーダーに来てもらい、「子供塾」を開催しました。積極的に子どもと子どもが接していて、声をかけたり、勉強を教えたりする姿があり、本当に今の子どもってすごいなと思いました。

それから、ビブリオバトルは子どもが堂々と発表していました。多くの人前で表現する力をものすごく身に付けてきていると感じました。今年度のチャンプ本はとても分かりやすく、本屋大賞になった本です。内容的にもよいものでした。

地域での活動にも積極的に取り組んでいるという点で、青少年育成市民会議の活動も素

晴らしいものになってきているというのは感心しました。

老人を対象としたサロンを行っています。そこで、図書館から大型絵本を貸していただいています。子どもたちを対象とした事業だけでなく、高齢者を対象とした事業もPRしていくことで、事業の幅も広がると思います。

それからもう1つお伝えします。私は、行政改革推進委員を担っていますが、「図書館の自分史」という事業の見直しの話が出てきました。社会教育委員の会に全然その話がなくて、皆様の知らないところで事業がなくなってしまう心配があります。申し訳ないですが、事前に社会教育委員の会において話をさせていただければ、意見をもって臨むことができたのではないかと考えます。

井深委員長 ありがとうございます。今宇野委員が言われたこと、図書館長さん今後検討して進めてください。それでは、廣瀬委員感想をお願いします。

廣瀬委員 瑞穂総合クラブですが、最初に教育長さんがお話をいただいたように将棋講座についてです。実は一昨年度、講座を増やしたいという思いから、「子どもたちに将棋を教えていただけませんか」と市民センターで将棋に取り組む方々に当たってみました。コロナ禍がありましたので、なかなか前向きになっていただくとはできませんでした。そういう方を講師として、子どもたちに将棋の楽しさを教えてもらえるとより子どもたちの「やりたい」という思いが出ると思います。

2点目は、ビブリオバトルについてです。西小学校からも6年生の子が参加させていただきました。今年度からサンシャインホールでの開催ということでどうなるのかなと思いましたが、子どもたちは臆することなく、堂々と発表できていてよかったです。ただ、発表者への質問については、もう少し検討したほうがよいと思いました。子どもたち発表者は4分の中で自分の本から感じたこと、それから自分の思いを4分間で語りきろうと頑張っています。よろしくをお願いします。

最後ですが、図書館の企画展、先日行かせていただきました。一番すごいなと思ったのが広重の美江寺宿の浮世絵です。前々から長屋委員さんがこの浮世絵を子どもたちに見せてやりたいというようなご意見をいただいていたので、これは国立国会図書館のデジタルコレクションから無料でダウンロードできるということを知り、驚きました。

井深委員長 ありがとうございます。最後にお願いが2つあります。今の企画展は、すごくよい企画展です。講演会も古文書からひも解く美江寺宿の歴史でした。企画展や講演会の記事を新聞で紹介していただいたことで参加者がだいぶあったような気がします。よいタイミングで新聞を通して周知したことは非常によかったのではないかと思います。美江寺宿は瑞穂の一番の歴史的なものを、小中学校にも知らせてほしいと思います。展示についても、もう少し広げて、例えば、市民センターのロビーなどで、長期間ずっと飾って学ばせるということも考えられます。

もう1点は、この企画展のパンフレット、字が小さいのもっとわかりやすく、子どもたちも見たいなというパンフレットを考えられたらよいと思いました。以上です。

次に、市民自主講座について協議に入ります。始めに事務局説明をお願いします。

事務局 資料の 11 ページをご覧ください。今年度の調査研究は一覧にあるとおり、講座の参観をお願いしたところです。限られた中で、ご参観ありがとうございました。12 ページをご覧ください。本日は講座の参観を通して皆様が気付かれたこと、参加者の講師の先生方の様子について最初に交流していただき、その後、今後の市民自主講座の在り方についてご示唆いただければありがたく存じます。

廣瀬委員については、参観時に気づかれたことをまとめたものをプリントにしてくださいましたので、配付させていただきます。

井深委員長 私からお話させていただきます。自分なりに自主講座評価表を作成しもって行きました。そして講座名と、それから参加した時間と、参加人数と、進んで参加し、楽しい活動であるか、普段活動できない体験、ほかの参加者の交流ができているか、安心安全であるか、生涯にわたって学んでいこうという意欲があるかなどの観点から見せていただきました。3つの講座はいずれも満点の評価です。どの講座の出席率も非常に高かったです。

最初に一番初めの「書画講座」ですが、17名参加がありました。そのうち男性は2名ありましたが、空気が張り詰めていました。その中でじっと見させてもらうことも難儀でしたので、自分も書いてみました。ただどうまくいかなないので、もう1回、2回と書いてみると、ちょっと上手くなったなと思いました。こんな風にして自分もやってみました。非常に感動を受けました。

2つ目は「お片付け教室」ということで何だろうなと思っていたところ、様々なことに興味をもって集まっていって、色々な姿を見ることができました。私も会員になって、一緒に仲間に入ってグループトークもして参加させてもらいました。片付けが防災に結びつくという、防災を意識したお片付けでしたけれども、グループトークを中心として本当に皆さんいきいきとお話してみえました。

3つ目は「呼吸を整える太極拳」、「お片付け講座」の7名は全部女性、「太極拳」も全部女性でした。この講座の会員は、年齢層に幅がありましたが、とにかく一生懸命やってみえました。体を動かすのがきつい時には、「無理したらいかんよ。やれるところがいいよ」と声をかけたり、活動時間を短くして休憩を自由に取ったりなど安全面の配慮をしっかりとされていました。休憩時には、歳の差関係なく交流があり、笑い声が絶えず起こっていました。もう活動が始まると活動でピシッとするという姿でメリハリがありとてもよい活動だったと思いました。

どの講座も満点の活動をしてみえると思いました。これが人生100年時代の自ら学ぶ活動かなと思い、この市民自主講座については今後さらに増やしていきたいと感じました。

そこで1つ考えないといけないのは、男性の参加者がとても少ないです。今後、男性が入りやすい活動をやっぱり事務局も考えてほしいなと思いました。以上です。

長屋委員 「そば打ち」講座についてです。7月26日に参加しました。参加者は3組、男性が2名で女性が2名です。2回目でしたが、参加者は先生の説明を聞きそば粉のこねから、のし、のぼし、包丁切りまで実際にできるようになっていました。そして、自分で作ったそばを湯がいて、ざるそばにして味わいました。これぞ手作りのそば打ち体験で思いました。こうした体験はなかなかできないので、青少年の参加が増えればよいと思いました。

次に「ふるさと研究会」講座です。参加者 12 名、男性が 11 名、女性 1 名でした。40 代から 70 代の方まで幅広くみえました。1 人だけ小学生の子が参加していきまして、夏休みの学びにつながることはないかと考えていたようです。今回の講演は、過去の瑞穂市の水害について学んでいました。実際にプロジェクターで被害状況を投影しながら説明があり、それらについて参加者と先生との活発な意見交換がありました。さらに、終盤には、地図を見ながら今後の水害についての予測説明がありました。

次に「水彩画」講座です。これは参加者 3 名、男性 1 名、女性 2 名でした。生徒が自発的にテーマを決めて、自分で画用紙に水彩絵の具で塗っていくのを、質問があればアドバイスするという形で進めていっていただきました。ですから、自由な雰囲気では参加者は自分の好きな絵を描いていっていただきました。その雰囲気がよかったですと思います。

まとめとしましては、3 講座とも参加者が少ないところもありましたけれども、体験ができる場として続けてほしいというのが感想です。

上野委員 「きれいになるヨガ」講座では、本当にびっくりしましたが、みなさんお話しすることなく、ヨガに入っていくのですが、そこに座っているだけで何かものすごく癒されるような素晴らしい活動でした。その後、少し懇談させていただきました。「何か悩んでいることはないですか」と伺うと、会場が狭いので、広いところを提供してほしいと話してみました。また、「何年やってみえるのですか」と聞くと、10 年と言われました。3 年間講座を続けたときに生涯学習課に陳情したそうです。当時、体にもよいし、素晴らしい講座であることから、認められてきたとのことでした。そして現在まで継続しています。

本来、市民自主講座は 3, 4 年で自立していくことをめざしています。そのために、会員の募集や施設の予約等を支援しています。言えばその後も続けられるという点が問題点だと思います。

「よくばりボイストレーニング」講座の最終回に参加しました。今でも駅西会館で個人レッスンもやってみえて、市民自主講座を開かれたと思います。とてもリラックスした感じで、自分たちの姿を鏡で見ながら声を出すという活動を行っていただきました。目標をしっかりもち、取り組んでいました。男性のかたもみえました。

「大人のための美と健康」講座では、これは少し違った傾向で、美しくなるためにはこういう条件が必要ですよという感じでやってみえました。その講座の悩みは、3 年で終わりになってしまうことでした。だから、次どうしようかと悩んでいることがわかりました。「自分たちで続けられればどうですか」と私は言わせてもらいました。問題だと感じたことはこの講座を開かれる方がどういう意識でその講座をやられるかということです。3 年間の間にみんなで仲間になり、「1 人は私が教えてあげる人だよ。1 人は会費を集める人だよ。1 人は会場を取る人だよ。1 人は連絡係だよ」と組織的に活動できるように、そして今後の活動の見通しをもてるように指導をするのが生涯学習課じゃないかと思います。

井深委員長 宇野委員さん。

宇野委員 「パンフラワー」講座に行きました。先生 1 人で 4 人の受講者がみえて、黙々とパンフラワーを行っていただきました。「この 3 年間でどこまでやれるのですか」と聞くと、講師の先

生は、テーマがあり、計画的に取り組んでいますとのことでした。その中で先ほど上野委員が言われたように、市民の生きがいややりがいとか、そういう学びの場であるという視点もありますが、この3年間で組織をきちんと指導していくこともやはり必要だと思います。昔は、私たちが言う習い事、趣味については自分たちで行うもので、本当に市役所が主導で行うものなのかと思いました。今回、講座を参観して、講師も一生懸命取り組んでみえてやりがいを感じてみえました。学んでいる人も、作品を1つ作り上げていく楽しみがあって、ものすごく生き甲斐があると思いました。それはものすごくよいことだと思いましたが、受講者が少ないのは残念でした。

「よむよむクラブ」の講座では、この講座も先生が信念をもち、すごく専門的に教えていました。ただ、受講者が少なくてたった3人でした。受講者を増やしたいと考えたとき、ただパンフレットでこういう講座がありますではなかなか分からない部分があるので、例えば写真を載せるなどの方法があると思います。また、教育委員会としてこの講座を自立させるためにはどうしたらよいかを考え、講師を対象としたレクチャーを行い、3年間の目的意識をもたせてほしいと思います。そして、継続していけるようにしていくと思います。こうした点をきちんと説明すべきと思って私は見てきました。

井深委員長 反論するようだけど、私は習い事でも自ら学ぶ、生涯学ぶという姿勢から見たときに僕はぜひやってほしいと思います。

各講座の自立までの筋道を生涯学習に示してもらい、育てていくような仕組みが大切です。自分たちで運営できるようになることが目標ですけど、今の段階では生涯学習課に巣立つまでは手を貸してもらえるとよいです。

井深委員長 赤尾委員さん。

赤尾委員 「脳トレピアノ®」の講座では、講師2名、女性7名、男性0名でした。講師の話がとてもスムーズで、授業のようでした。一音だけじゃなくて二音同時にならずことが、脳トレなのではと思いましたが、単純にピアノのレッスンに近い印象がありました。受講者が自分のレベルに合わせて、選択しながら進めていくことができ、非常によいと思いました。今後、曲を変えて自分で自ら学んでいけるような基礎になると思うので、この講座を入り口として続けていけば生涯にわたって学ぶことができると思いました。

「太極拳」の講座では、女性5名で活動していました。太極拳は、すごく体を使うことなので、体重移動だったりとか、目線だったりとか、本当に事細かに先生が指導されていて、とてもすごいなと思ったところです。先生がスッと立つだけで、立ち姿だけで分かるというのは本当にすごいと思いました。受講者も一生懸命に体幹を鍛えてみえました。年齢は60代以上のかたが多くみえました。

「美しい点字」の講座では、女性14名の受講者でした。「脳トレピアノ®」に、見えた方もかけもちでやってみえました。点字は、独特な書き方なので、ペンの力の入れ具合など本当に書いて慣れるしかないなという感じでした。この講座に関しては講師と受講者の数が見合っていない印象を受けました。けれども、受講者に話を聞くと、「字を上手にかけることはまた別で、すごく集中してできるから、気持ちを整えるという点で続けていま

す」ということを話されました。以上です。

井深委員長 それでは広瀬委員さん。

広瀬委員 「英語の発音練習」講座を見学しました。受講者は5名でした。その時は実用的な発音練習ということで、単語と単語のつながりの発音に取り組んでいました。講座内容によって参加者がすごく変わるということでした。

「茶道のある暮らし」講座を見学しました。受講者6名ですべて女性のかたでした。互いにみんな和気あいあい取り組んでいました。もう少し若い人が参加できるとよいと思ったところです。最後にお茶をいただきましたので、あわせてお茶菓子をいただきました。

「カトラリー製作」講座では、最初はカトラリーって何かなと思いましたが、木工で木のスプーンを削って作っていました。5人の受講者がみえましたが、これもすべて女性のかたでした。それで、切り出しナイフ等を使って削る場面では、安全面の指導も講師のかたは大変だと思いました。様々な材料とか道具は講師の方が全部揃えるということ、大変だと思いました。以上です。

井深委員長 ありがとうございます。

広瀬委員 「自己を癒すセルフケアヨガ」講座では、音楽が流れる中、落ち着いた雰囲気の中でヨガに取り組んでいました。少しやってみましたが、心身ともにリラックスできました。まさに癒しを求めて皆さんいらっしゃっていることが分かりました。

「あいうえお50音ことは」講座では、受講生2名でした。50音のいろいろな言葉にリズムをつけて発声するという取り組みにみえました。この発音練習で「口の周りとか舌、のどの筋肉が鍛えられるよ。これが誤嚥性肺炎の予防にもつながるよ。」ということをお話いただき、高齢の方にはいい講座であると感じました。以上です。

井深委員長 委員さんの中で今の他の人の活動を聞いて、どんな感想を持たれましたか。ご意見ありましたらぜひお話しください。では、発表の中にご意見もありましたので、これで交流を終わりたいと思います。それでは議事のすべてを終了しましたので、進行の方をまた事務局の方にお返しします。

生涯学習課長 ありがとうございます。慎重なご審議をいただきまして、我々生涯学習課の方もいろいろご意見いただきました。また課内で精査をいたしまして、また来年に向けて、活かしていきたいと思います。ありがとうございます。

事務局 ありがとうございます。委員のみなさんご意見を伺い、目的意識、講座運営の見通し、どこまで支えていくのかという点について、第3回のこの会の中で提案をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

上野委員 主体的な市民自主講座に変わっていくために、すぐにすべてを委ねるのではなく、例え

ば会場の予約、会場費の減額など、何か順番に任せていくことができるように補助してもらえるとよいと思います。一番切実なのは会場費だと思います。

井深委員長 人数もある程度決められるとよいかもしれません。

生涯学習課長 わかりました。では、閉会の言葉の方を教育委員会事務局長より申し上げます。

事務局長 熱心なご協議ありがとうございました。市民自主講座につきまして様々なご意見をいただきましたので、検討していきたいと考えます。私が学んだサービスというところ而言いますと、4つあると思っています。1つはプログラムサービス、こういう講座を開いて、きっかけづくりをしていくこと。次にクラブサービスという形で自主運営できるクラブを支援していくこと。1つはエリアサービス、講座と施設の関係进行调整すること、1つはインフォメーションサービスという形で他市町の様々な取り組みを紹介していくこと。私は昔、この4つは生涯学習課で大切にすべきサービスだと学びました。

皆さんが言われましたように、まず手始めに教育委員会が主導で行い、そこで学んだ方たちが自主的に取り組むことができるよう、どう働きかけていくか考えていかなければならないと思っています。ありがとうございます。

それから、冒頭にも教育長のあいさつにもありましたけれども、国民文化祭はこの週末でフィナーレを迎えます。瑞穂市は、今回は将棋ということで皆様方にご協力いただきました。ありがとうございます。また、文化協会さんのお力添えが絶対必要ということで、廣瀬副会長さんには、シーズンごとに行っていた行事をこの時期に集結していただいて、大々的にやっていただきまして本当にありがとうございました。

これで、今年度国民文化祭という大きな行事は終わりましたが、来年度は全国健康福祉祭、いわゆる「ねんりんピック」が開催されます。瑞穂市は前回中止になったとき同様ソフトテニスの会場となりますので、また皆様方からいろんなご意見やお知恵をお借りしながら、なんとか成功裏に終わるよう努めなくてはならないと思っておりますのでまたご協力の程よろしく申し上げます。本日はどうもありがとうございました。

生涯学習課長 ありがとうございました。これで第2回の社会教育委員の会を閉じさせていただきます。